


(様式第1号)

平成 26 年 3 月 31 日

陸前高田市議会議長 伊藤明彦 様

会 派 名 未 来 プロジェクト

代表者職氏名 (議員名) 菅 野 広 紀 

## 政務活動概要報告書

政務調査費に関する取扱要領第6条第2項の規定により、平成25年度政務調査活動報告をいたします。

### 記

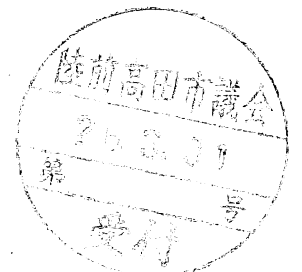
#### 1 研修事業

- ① 日本自治創造学会 平成25年5月23~25日 東京 明治大学
  - ② 日本地方自治学会 平成25年11月8~10日 新潟県長岡市
  - ③ 土木学会トークサロン 平成25年12月20日 東京 早稲田大学
  - ④ 旭硝子 AGC セミナー 平成26年3月20日 東京都中央区京橋
- ①②③④については別添報告書添付

#### 2 調査事業

- ① 議会改革について・復興住宅政策について他 平成26年2月20~22日  
東京都 (全国市議会議長会・国土交通省・NHK)
  - ② 地域産業活性化策 (現地視察) 平成26年2月8日 宮城県山元町
  - ③ 文化遺産の活用について 平成26年2月11日 宮城県多賀城市
- ①②③については別添報告書添付

以上



平成 25 年 5 月 31 日

未来プロジェクト会長 菅野広紀 様

報告者 菅野 広紀

## 出張報告書

|         |   |
|---------|---|
| 出張者氏名   | 菅野広紀  |
| 出張月日    | 平成 25 年 5 月 23 日～25 日   |
| 出張（用務）先 | (財)日本自治創造学会 研究大会、 東京都明治大学（駿河台）  |
| 面談者等    | 穂坂邦夫（財、自治創造学会理事長）・中邨章（自治創造学会会長・明<br>大名誉教授）・牛山久仁彦（明大教授）他   |
| 交通手段    | 自家用車、新幹線  |
| 経路等     | 5/23 陸前高田市～水沢江刺～東京 泊<br>5/24 東京～ ～東京 泊<br>5/25 東京～水沢江刺～陸前高田   |
| 出張費用    | 参加費、旅費宿泊費等 36,310 円   |
| 顛末      | 「政権交代と地方自治の行方」<br>～分権・議会改革・道州制・TPP・地方の振興～<br><br>5/23～24 の 2 日間に渡り、明治大学アカデミーホールにて、研究テーマ「政権交代と地方自治の行方」として平成 25 年度（第 5 回）研究大会が開催され、政権交代以降の政治の行方と地方議会を取り巻く環境の変化や震災復興計画をはじめとした地域振興のあり方等に熱心に討議が行なわれた。<br><br>以下、概略を報告する。 |

平成 25 年 11 月 20 日

未来プロジェクト会長 菅野広紀 様

報告者 菅野 広紀

## 出張報告書

|         |  |
|---------|--|
| 出張者氏名   | 菅野広紀   |
| 出張月日    | 平成 25 年 11 月 8 日～10 日  |
| 出張（用務）先 | 日本地方自治学会 研究会、新潟県長岡市  |
| 面談者等    | 今川晃、辻山幸宣（地方自治総合研究所）、森民夫（長岡市長） 他  |
| 交通手段    | 自家用車、新幹線   |
| 経路等     | 11/8 陸前高田市～水沢江刺～大宮～長岡 長岡泊<br>11/9 長岡 長岡泊<br>11/10 長岡～大宮～水沢江刺～陸前高田  |
| 出張費用    | 旅費 30,180 円  |
| 顛末      | <p>11/9・10 の 2 日間にわたり新潟県長岡市長岡商工会議所を会場に日本地方自治学会 2013 年度研究会及び総会が開催された。</p> <p>主な議題は、基礎自治体をめぐる現状と課題や震災復興と被災者支援、自治体における教育行政の課題と展望について、まさに今を取り巻く自治体の方向性や問題、改題等について議論された。</p> <p>以下、概略を下記に記載す。</p> <p>11/9 は日韓交流として明治大学牛山教授の進行により進められ、日本の地方自治を参考に取り入れた韓国の現状について建国大・蘇教授より「韓国歴代政権の地方分権政策の評価と方向」と題して報告を受けた。</p> <p>・共通論題 1、「基礎自治体をめぐる現状と課題」</p> |

平成 25 年 12 月 26 日

未来プロジェクト会長 菅野広紀 様

報告者 菅野 広紀

## 出張報告書

|         |   |
|---------|---|
| 出張者氏名   | 菅野広紀  |
| 出張月日    | 平成 25 年 12 月 20 日～21 日  |
| 出張（用務）先 | 公益社団法人土木学会、 東京都 早稲田大学   |
| 面談者等    | 石川幹子（中央大学）、清野聡子（九州大）、 他   |
| 交通手段    | 自家用車、新幹線  |
| 経路等     | 12/20 陸前高田市～水沢江刺～東京 東京泊<br>12/22 東京～水沢江刺～陸前高田   |
| 出張費用    | 旅費宿泊費・資料代 30,220 円  |
| 顛末      | <p>まさに今を取り巻く防潮堤議論を始めとして復興の行方、住民協働のまちづくりの重要性、自治体の自己決定・自己責任と言った問題、改題等について熱心に議論された。</p> <p>以下、概略を下記に記載す。</p> <p>土木学会であるような活気ある討論会が出来るとは思っていませんでした。</p> <p>あの日のパネリスト、フロアーの参加者は皆さんそれぞれ懸命に何かを考えているということを感じました。</p> <p>土木計画は行政分野に入った仲間になんて任せとけばいい、という概念が変わったのが今回のテーマです。</p> <p>何しろ行政は徹底した、それこそ徹底した縦割りです。</p> <p>総合的な復興計画議論はありません。</p> <p>其々の行政は、与えられた所管法律の土俵の中で踏みとどまっています。土俵から出たら行政官として失格なのです。</p> <p>それに対して意見をいって、行政全体をその方向に向かせるのが土木学会の役目です。</p> <p>この役目をしない学会なら意味がありません。</p> <p>学会で、公共事業の地元の人々の思いにはせることが大切です。</p> <p>元河川局長、竹村公太郎さん</p> |

石川です。

陸前高田は、しっかりとした学術調査が必要です。

添付のPPTは、震災直後に調査したものです。

高田松原のアカマツは、全く異なる直根性のものです。

沢山、切り倒したものがありましたので、1本1本年輪を数えました。

最大級のものは、279年でした。

史実とあいます。上流部も調査しました。チリ地震津波後にも、植林されており、受け継がれてきた歴史がわかります。

平成 26 年 3 月 28 日

未来プロジェクト会長 菅野広紀 様

報告者 菅野 広紀

## 出張報告書

|         |  |
|---------|--|
| 出張者氏名   | 菅野広紀   |
| 出張月日    | 平成 26 年 3 月 20 日～21 日  |
| 出張（用務）先 | 旭硝子ショールーム、 東京都京橋 AGC スタジオ  |
| 面談者等    | 城本勝（NHK 解説副委員長）、木原幹夫（旭硝子） 他  |
| 交通手段    | 自家用車、新幹線   |
| 経路等     | 3/20 陸前高田市～水沢江刺～東京 東京泊<br>3/21 東京～水沢江刺～陸前高田  |
| 出張費用    | 旅費宿泊費・資料代 30,700 円   |
| 顛末      | <p>第 4 1 回AGCstudioデザインフォーラム<br/>陸前高田発：「震災から3年、いま覚悟をもって明日へ」と題してフォーラムが開催された。</p> <p>東日本大震災から3年が経過し、東北沿岸部では、社会インフラ等のかたちは見えてきましたが、ひとりひとりの暮らしの再生にはまだ長い道のりが必要です。人口減少も顕在化している沿岸部が多い中で、地域が主体で明日への一步を踏み出す取組みがはじまっています。</p> <p>NHK解説委員室副委員長・城本勝氏と共に、陸前高田に暮らす方々から、それぞれのこれからをお話しいただき、復興への道標を一緒に考えていきたいと思ひます。</p> <p>武蔵和敏氏（株式会社カメラアン・プロダクツサービス 代表取締役社長）<br/>「地域再生のための新たな産業創出」</p> <p>伊藤昌子氏（特定非営利活動法人 きらりんきっず 代表）<br/>「次世代の地域定住に向けた活動」</p> <p>阿部裕美氏（NPO 陸前高田市支援連絡協議会Aid TAKATA・陸前高田防災FM パートナリティー）<br/>「情報発信と共に崩壊したコミュニティを守る」</p> <p>武蔵富士夫氏（陸前高田 富士設計室 代表）<br/>「義理すべと祭りが支えるコミュニティ」</p> |

平成 26 年 2 月 28 日

未来プロジェクト会長 菅野広紀 様

報告者 菅野 広紀

## 出張報告書

|         |  |
|---------|--|
| 出張者氏名   | 菅野広紀 ・ 千田勝治  |
| 出張月日    | 平成 26 年 2 月 20 日～22 日  |
| 出張（用務）先 | 全国市議会議長会・国土交通省・NHK・明治大学 他  |
| 面談者等    | 廣瀬和彦全国市議会議長会調査広報部参事、橋本公博国土交通省大臣官房審議官、城本勝 NHK 解説副委員長、他  |
| 交通手段    | 自家用車、新幹線   |
| 経路等     | 2/20 陸前高田市～水沢江刺～東京 東京泊<br>2/21 東京泊<br>2/22 東京～水沢江刺～陸前高田  |
| 出張費用    | 宿泊旅費・移動タクシー代 74,840 円  |
| 顛末      | 会派の調査研究として実施。<br>調査項目は<br>① 地方議会改革と議員の役割及び災害対策（危機管理）について<br>※全国市議会議長会 廣瀬和彦調査広報部参事<br>② 東日本大震災における復興住宅制度と現状について<br>※国土交通省大臣官房審議官 橋本公博審議官（住宅局担当）、里見晋住宅総合整備課長 他課長補佐 2 名<br>③ 東日本大震災の復興を取り巻く状況と課題について<br>※NHK解説委員室 城本勝 NHK解説副委員長<br>④ 復興のICT活用の現状と展望について<br>※㈱ DankSoft 代表取締役<br>⑤ 障害者雇用を巡る現状と課題について<br>※スワンカフェ銀座店 鈴木敦士店長<br>⑥ 入札制度問題の課題と展望（事業者育成と行政）について<br>※ |

平成 26 年 2 月 28 日

未来プロジェクト会長 菅野広紀 様

報告者 菅野 広紀

## 出張報告書

|         |  |
|---------|--|
| 出張者氏名   | 菅野広紀   |
| 出張月日    | 平成 26 年 2 月 8 日  |
| 出張（用務）先 | 農業生産法人(株)GRA、宮城県山元町  |
| 面談者等    | 農業生産法人(株)GRA 橋元洋平副社長、勝部達也インド栽培担当   |
| 交通手段    | 自家用車   |
| 経路等     | 2/7 陸前高田市～三陸道～仙台 仙台泊<br>2/8 仙台～山元町～陸前高田  |
| 出張費用    | 交通費（高速料金） 3,800 円  |
| 顛末      | 震災からの地域 1 次産業の再生と展開・販売戦略<br><br>東日本大震災で特産のイチゴ栽培の先進地である宮城県山元町が壊滅的な被害を受けた、しかし、地域産業であるイチゴ栽培を復活させ尚かつ新たに最新技術と販売戦略により、ひいては海外（インド）での生産販売とグローバルな活動を展開する農業生産法人(株)GRAを訪問し、産業・地域・人づくりからの地域産業の将来展望を聞く。 |



平成 26 年 2 月 28 日

未来プロジェクト会長 菅野広紀 様

報告者 菅野 広紀

## 出張報告書

|         |  |
|---------|--|
| 出張者氏名   | 菅野広紀   |
| 出張月日    | 平成 26 年 2 月 11 日   |
| 出張（用務）先 | シンポジウム 東北歴史博物館、宮城県多賀城市   |
| 面談者等    | 無し、  |
| 交通手段    | 自家用車   |
| 経路等     | 2/11 陸前高田市～三陸道～多賀城～三陸道～陸前高田  |
| 出張費用    | 交通費（高速料金） 1,300 円  |
| 顛末      | 「文化遺産とまち・ひと・復興」と題して東北歴史博物館を会場にシンポジウムが開催され、本市の復興と文化財活用のヒントを探る。<br>以下、概要を記す。 |